

<p>縄文時代</p>	<p>狩猟経済、移動生活。 (1) や貧富の差がないことが、埋葬の仕方や竪穴住居の大きさなどからわかる。</p>
<p>弥生時代</p>	<p><b>小国の分立</b> 弥生時代に入り、本格的に農耕が発達してくると、社会生活に大きな変化がおこってきた。生産力が高まり、農作物がたくわえられるようになると、ひとつのむらの中に貧富の差や、身分の差が生まれた。力のある者に率いられた集落(むら)は互いに征服や合併をくり返してより大きな集団(小国家)へと発展した。 1 紀元前1世紀...『楽浪郡の東方沖に倭があり、100余国にわかれている。』「漢書」地理志 2 1世紀.....『倭の奴国の使いがきて、光武帝は金印をあたえた』「後漢書」東夷伝 3 3世紀.....(2) 国の女王卑弥呼が30余国をまとめていた。「魏志」倭人伝。</p>
<p>大和時代</p>	<p><b>大和朝廷の全国統一</b> 1 大和朝廷の成立.....(3) 世紀の半ばには、近畿地方の有力な豪族(大王のちの天皇)が力をたくわえ、北九州地方から関東にまで勢力を広げた。 2 (4) 制度.....大和朝廷は、氏とよばれる血族集団の長(氏上)を朝廷につかえさせ、天皇から姓(家柄や社会的地位を示す称号)をもらい、朝廷内の仕事を分担した。 3 古墳.....3世紀から7世紀にかけてつくられる。土を高く盛りあげた小山のような墓で、豪族たちが自分の力を示すために築造した。仁徳天皇陵といわれる(5) 古墳(大阪府堺市)は世界一の規模。</p>
<p>飛鳥時代</p>	<p><b>聖徳太子</b> 聖徳太子の政治.....593年(6) 天皇の摂政となり、天皇中心の中央集権国家をめざした。 (7) (603年)...豪族の中から、才能のあるものを役人に登用した。 (8) (604年)...大王の権限を高めて、役人の心がまえを説いた。 遣隋使の派遣(607年)...隋と対等な外交関係をのぞみ、(9) を派遣した。 仏教のしょうれい...豪族たちに仏教をすすめたり、四天王寺や(10) を建立した。 <b>大化の改新</b> 1 改新の理由.....蘇我氏の横暴、皇室の危機、隋・唐の諸制度や文化の影響。 2 改新の断行.....(11) (のちの天智天皇)・(12) らは、蘇我氏を滅ぼし、天皇中心の統一国家をめざした。(645年) 3 改新の方針.....(13) の制...土地と人民をすべて朝廷のものとする。 国郡里制...全国をわけて国司・郡司・里長を任命する。 班田収授の法...(14) をつくり、口分田を貸し与える。 新しい税制...租・庸・調 天智天皇の死後、後継者争いで(15) がおこる。(672年) 天武天皇、持統天皇(藤原京) <b>律令政治</b> 大宝律令.....701年、(16) 天皇のとき制定。唐の制度にならった日本で最初に完備した律令。 これにより聖徳太子の理想が実現した。藤原不比等が中心。</p>
<p>奈良時代</p>	<p><b>平城京</b> 1 平城京.....710年、(17) 天皇が奈良に都を移した。この後、約80年間都として栄えた。 (18) 天皇のとき全盛で、都には東大寺がつくられ、国ごとには国分寺がつくられた。大仏の開眼(752年) 2 律令政治.....中央に二官八省をおき、地方は国・郡・里にわけて、国司・郡司・里長をおいた。 外交上重要な九州には(19) をおいた。守りにつく兵士を防人という。 3 律令政治の乱れ.....口分田の不足を補うため、(20) の法・(21) 法を定める。これにより公地公民の原則がくずれた。(22) の発生</p>

<p>平安時代</p>	<p><b>平安京</b></p> <p>1 平安京..... 794年、(23)天皇が仏教勢力からはなれ律令政治を建て直すため、平安京に都を移した。 1869(明治2)年に都が東京に移されるまでの約1100年間、日本の都として栄えた。</p> <p>2 律令政治のたてなおし.....班田収授の法を改正し、国司のかんとくを強化する。また、(24)を征夷大將軍にして、えぞ地の平定を行った。</p> <p>3 莊園の発達.....墾田永年私財法により土地の私有化が進み、班田制がくずれていった。莊園領主は(25)・(26)の権を手にいれるものもあられ、中央の支配が弱まっていった。</p> <p><b>藤原氏による(27)政治</b></p> <p>(27)政治.....天皇と外戚関係を結んだ藤原氏は、摂政・関白の地位を独占した。 858年、藤原良房がはじめての摂政になる。 887年、藤原基経が最初の関白となる。 藤原道長(法成寺建立)・頼通父子((28)の建立)の時代(11世紀前半)に全盛期をむかえる。 『この世をば我が世とぞ思う望月の欠けたることもなしと思えば』</p> <p><b>武士の発生</b></p> <p>地方政治がみだれると、地方の豪族や名主は土地を守るため、家子・郎党を武装させた。中でも平氏(桓武天皇の子孫)と源氏(清和天皇の子孫)が大きな勢力をもつようになった。 (29)の乱(935年、関東地方の武士の反乱)・(30)の乱(939年、瀬戸内地方での反乱) 前九年(1051年)・後三年(1083年)(東北地方での武士の反乱)源頼義・(31)父子がしずめる。</p> <p><b>院政の開始</b></p> <p>1086年、(32)天皇は上皇となり院で政治を行う。院政が始まると、摂関政治はおとろえ、院と天皇の対立が生まれた。</p> <p><b>武士の台頭</b></p> <p>(33)の乱(1156年)...崇徳上皇(敗)×後白河天皇(勝) (34)の乱(1159年)...平清盛(勝)×(35)(敗)</p> <p><b>平氏の政治</b></p> <p>(36)が1167年武士として初めて、太政大臣の位につく。 日宋貿易 兵庫港(神戸港) 輸出...硫黄・刀剣 輸入...宋銭・陶磁器 『平氏にあらずんば人にあらず』 1185年、(37)の戦いで滅亡 同年源頼朝は(38)・(39)を置き、勢力を広げた。</p>
<p>鎌倉時代</p>	<p><b>源氏の政治</b></p> <p>1 源頼朝..... 1192年、征夷大將軍に任ぜられ、鎌倉に幕府を開く。その後、明治維新まで約700年にわたる武家政治のもととなった。</p> <p>2 幕府のしくみ.....中央に侍所・政所・問注所、地方には国ごとに守護を、莊園に地頭を設置した。</p> <p>3 二代頼家・三代実朝で源氏が絶える。</p> <p><b>北条氏の政治</b></p> <p>1 (40)の乱..... 1221年、(41)上皇は幕府から政権をとりもどそうと挙兵したが失敗し、隠岐に流された。乱のあと、幕府は朝廷を監視するため、(42)を設置した。北条義時・政子(尼將軍)</p> <p>2 (43)政治の確立.....源氏がほろびたあと、北条氏が執権として鎌倉幕府の実権をにぎった。</p> <p>3 (44)の制定...(1232年)この乱のあと、(45)は幕府の支配を固めるため51か条からなる法を定めた。</p> <p><b>元寇</b> - 幕府のおとろえ -</p> <p>(46)の役(1274年) } 元の皇帝フビライ (47)の役(1281年) } 執権(48)</p> <p>元寇の影響で幕府の財政が苦しくなり、御家人に恩賞を与えることができなくなった。 このため、武士の不満が高まった。 幕府は御家人をすくうため永仁の(49)を出した(1297年)。幕府の勢力の衰え →(50)年鎌倉幕府滅亡 (51)天皇のもとに、新田義貞が鎌倉を、(52)が京都を攻める。</p>

<p>建武 の 新政</p>	<p><b>建武の新政</b></p> <p>鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇は京都に帰り、天皇中心の政治を行った。(1334年)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>新政の失敗.....武士中心の政治をのぞむ武士と公家の対立がおこった。足利尊氏が天皇にそむいて拳兵したため、後醍醐天皇は(53)(奈良県)にのがれ、新政はわずか3年たらずで失敗に終わった(1336年)。</li> <li>南北朝の内乱.....1338年、足利尊氏は京都に北朝を、(53)にのがれた後醍醐天皇は南朝をそれぞれたてた。60年余り対立が続き、3代将軍(54)の時代に南北朝が合一した(1392年)。</li> </ol>
<p>室町 時代</p>	<p><b>室町幕府</b></p> <p>室町幕府.....3代将軍義満の時代、京都の室町に幕府を移した(花の御所)。鎌倉幕府のしくみをうけついでが中央の支配権が弱く、守護大名が勢力をのばした。</p> <p><b>(55)の乱</b></p> <p>8代将軍(56)のころになると将軍の支配力はますます弱まり、守護大名の反乱や対立が強まった。将軍のあとつぎがきっかけで(57)(西軍)と(58)(東軍)との間に11年間(1467~77年)にわたる争いがおこり、京の都は大半焼失してしまった。</p> <p><b>戦国時代</b></p> <p>戦国の世.....(55)の乱後、幕府の力や守護大名の勢力がおとろえ、各地に戦国大名が台頭した。</p> <p>(59)の世の中...下の者が上の者を実力でしのぐ世の中</p> <p>主な戦国大名には、北条(関東)、今川(駿河)、織田(尾張)、武田(甲斐)、上杉(越後)、毛利(中国)</p>
<p>安土 桃山 時代</p>	<p><b>織田信長</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>織田信長.....駿河の(60)を桶狭間の戦い(1560年)で破った後、安土城を築いて統一の事業を進めた。1573年には、(61)を京都から追放し、室町幕府をほろぼした。その後、中国地方の毛利市を討つ途中、京都の本能寺で家臣の(62)に討たれた(1582年)。</li> <li>信長の政策 商業をさかんにするために、(63)を行ったり、関所を廃止した。 仏教勢力をおさえるため、キリスト教を保護した。</li> </ol> <p><b>豊臣秀吉</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>豊臣秀吉.....(62)を倒した秀吉は、大阪城を根拠地にして統一事業を進めた。1590年に小田原の北条氏をほろぼし、全国统一を成しとげた。秀吉は朝廷から関白・(64)に任じられ、朝廷の権威により大名支配を行った。</li> <li>秀吉の政策 (65)...秀吉は全国の土地と人民を支配して、年貢を確実にとりたてるため測量、耕作者の確定。 荘園の消滅 (66)...一揆の発生を防ぐために、寺院や農民から武器をとりあげた。(兵農分離) 朝鮮出兵(侵略)...(67)の役(1592年)・(68)の役(1597年) (69)教の禁止...はじめは保護したが、全国统一のさまたげとなると思い、1587年禁止した。</li> </ol>
<p>江戸 時代</p>	<p><b>徳川家康</b></p> <p>1600年、(70)の戦いで、豊臣方の(71)をやぶる。 1603年、(72)に任ぜられ、江戸に幕府を開く。 1615年、(73)で豊臣秀頼自害し、豊臣氏滅ぶ。 (74)...大名取り締まりの法として制定。二代将軍秀忠。</p> <p><b>江戸幕府のしくみ</b></p> <p>中央(江戸)...(75)・若年寄・三奉行(寺社・勘定・江戸町)</p> <p>特別な場合には、老中の上に臨時に大老がおかれた。</p> <p>地方...京都所司代・大阪城代</p> <p>(76)に郡代・代官をおいて支配した。 全国の石高の4分の1をしめた。</p>

江戸時代	<p><b>幕府の統制</b>          全国を支配し、幕藩体制の基礎を固めた幕府は、大名・朝廷・公家・寺社・農民などをきびしく支配した。          大名統制          大名を三種類に分け、重要なところには(77)や(78)をおき、江戸から遠くはなれたところには(79)をおいてたくみに支配した。          (77) ...徳川氏の親戚、(78) ... (70)の戦い以前からの家臣、(79) ... (70)の戦い以後から家臣(74)を定め(1615年)、(80)によって大名の経済力を弱めた。          朝廷・公家の統制.....(81)を定めて、朝廷や公家を支配した。          農民の統制.....田畑永代売買禁止令・(82)制度などで、農民を支配した。</p> <p><b>徳川(83)</b> 三代...幕府の制度がほぼ整う。          1635年、(80) ...大名が1年おきに江戸と領国を行き来する。江戸には妻子を人質として残す。          1639年、(84) 船の来航禁止(鎖国の完成) 1637年の(85)一揆</p> <p><b>徳川綱吉</b> 五代...年号は(86)          儒学をすすめ、湯島に聖堂をつくったり、(87)の令をだした。貨幣の質低下。</p> <p><b>新井白石</b> (88)の治          貨幣の質をよくしたり、長崎貿易を制限した。『読史余論』</p> <p><b>享保の改革</b> 八代将軍(89) ...米将軍、1716年から幕府財政をたてなおそうとした。          新田開発 倭約令 年貢の引き上げ...四公六民 五公五民 目安箱 さつまいもの研究...(90)          (91)の制...大名に米を差し出させるかわりに参勤交代をゆるめる。          (92) ...大岡忠相、裁判の基準をしめす。</p> <p><b>(93)の政治</b> 大商人の力を利用して、財政を立て直しをはかろうとした。          (94)(同業者の組合)を積極的に認めて税を取り立てる。印旛沼・手賀沼の干拓          (95)の大ききん...百姓一揆・打ちこわしがおこりやめさせられた。</p> <p><b>寛政の改革</b> 老中(96)による改革、1787年から。          (97)の禁...朱子学以外の学問の禁止 (98) ...大ききん対策として米をたくわえさせる。          質素倭約・文武のしょうれい 棄捐令...旗本・御家人の借金を帳消しとした。</p> <p><b>天保の改革</b> 老中(99)による改革、1841年から。          天保の大ききん、(100)の乱(1837年)による幕府の動揺をたてなおそうとしたが、わずか2年で失敗した。          (94)の解散 (101)令...江戸大阪周辺の領地をとりあげる。 (102)令...土地を離れた農民を帰す。</p> <p><b>開国</b>          ・1853年、(103)が浦賀に来航 1854年(104)条約、1858年(105)条約          ・(106) ...幕府を批判した吉田松陰らが処罰される。時の大老(107)は桜田門外で暗殺される。</p> <p><b>幕府の滅亡</b> 尊王攘夷運動 尊王倒幕運動へ          ・薩摩藩...生麦事件 薩英戦争          ・長州藩...下関砲撃事件(4か国連合艦隊による占領)          ・土佐の(108)による薩長同盟          ・(109) ...第十五代将軍(110)は1867年政権を天皇に返す。          ・(111)戦争...明治政府軍と旧幕府軍との戦い</p>
------	---

	<p><b>明治維新</b> <small>ふこくきょうへい しよくさんこうぎょう</small> 富国強兵・殖産興業</p> <p>明治時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1868年(112) ...政治の方針を示した。・五榜の揭示...キリスト教禁止、一揆の禁止など</li> <li>・ 1869年(113) ...土地・人民を天皇に返した。</li> <li>・ 1871年(114) ...藩をやめて、県を置く。中央集権国家のしくみの完成。</li> <li>・ 1872年(115) ...最初の官営工場、群馬県に完成。 学制の発布、新橋 - 横浜間の鉄道開通</li> <li>・ 1873年(116) 改正...地価の3パーセントを現金で土地の持ち主が納める。 (117) 令.....成年男子の兵役の義務</li> <li>・ 1877年(118) 戦争...不平士族の反乱、西郷隆盛ら。</li> </ul> <p><b>(119) 運動</b> 国会開設を要求する運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1874年... (120) が板垣退助により出される。薩長による藩閥政治をやめて、国民の代表者による議会を求める。</li> <li>・ 板垣退助は(121) 党、大隈重信は(122) 党を結成。</li> <li>・ 1885年... (123) 制度できる。初代内閣総理大臣は(124)。</li> <li>・ 1889年... (125) 発布、プロシア(ドイツ)の憲法を参考にした。</li> <li>・ 1890年... 第1回衆議院議員選挙、第1回帝国議会 選挙権は満(126)歳以上で直接国税(127)円以上納める男子。全国民の1%。</li> </ul> <p><b>日清戦争</b> 朝鮮をめぐる中国(清)との戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1894年...朝鮮での農民反乱(= (128)) をきっかけに日本と清がおこした戦争。</li> <li>・ 講和条約... (129) 条約: 日本側 - 伊藤博文・陸奥宗光、清側 - 李鴻章 (130) ・リヤオトン半島などを日本領土とする。 賠償金2億両 八幡製鉄所の建設資金となる。 リヤオトン半島はロシア・フランス・ドイツによる(131)により清に返還した。</li> </ul> <p><b>日露戦争</b> 朝鮮をめぐるロシアとの戦争、1904年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講和条約... (132) 条約: アメリカ合衆国大統領(133)の仲立ち。 南満州鉄道の権利 (134)の南半分を日本の領土とする。</li> <li>・ ロシアの南下政策に対抗して、イギリスとの間に1902年に(135)が結ばれた。</li> <li>・ 日本国内には、「君死にたもうことなかれ」を発表した(136)などの反戦論があった。</li> </ul> <p><b>韓国併合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初代朝鮮統監伊藤博文が安重根に暗殺されたことがきっかけ。</li> <li>・ 1910年、韓国を併合し植民地とした。</li> </ul> <p><b>条約改正</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1871年、岩倉具視の欧米視察。</li> <li>・ 鹿鳴館で外国の外交官などを招いて舞踏会を開いた。</li> <li>・ 1894年、外務大臣(137)がイギリスとの間で治外法権(領事裁判権)の撤廃に成功。</li> <li>・ 1911年、外務大臣(138)がアメリカとの間で関税自主権の回復に成功。</li> </ul>
大正時代	<p><b>第一次世界大戦</b> 1914年~1918年、サラエボ事件をきっかけに戦争がおこった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本は(135)にもとづき、連合軍側に参戦した。中国にあるドイツ領を占領した。</li> <li>・ 講和条約... 1919年(139)条約、日本の全権は西園寺公望</li> <li>・ 大戦景気により国内には(140) ・海運業を中心に成金とよばれる大金持ちがうまれる。 戦争終結と、1923年の(141)のために不景気となった。</li> </ul>

<p>大正 時代</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大戦後、アメリカ合衆国大統領 (142) の提唱<sup>ていしょう</sup>で、世界平和のための組織として国際連盟ができる。</li> <li>・大戦中の1915年、中華民国に対して (143) を認めさせた。</li> </ul> <p>反日運動 中国では (144) 運動、独立を求める韓国では (145) 運動</p> <p><b>大正デモクラシー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(146) 運動 - 憲法に基づいた政治 (立憲政治<sup>りっけん</sup>) を守ろうとする運動。</li> <li>(147) (憲政の神様<sup>けんせい</sup>)、犬養毅<sup>いぬかいつよし</sup>、(148) (民本主義<sup>みんぼん</sup>)</li> </ul> <p>政党内閣</p> <p>1918年に富山県でおこった (149) の責任をとり寺内内閣が総辞職したのち、立憲政友会総裁の (150) (平民宰相<sup>せいしんさいしょう</sup>) が内閣をつくった。これが初の本格的政党内閣である。</p> <p>普通選挙法</p> <p>1925年 (151) 内閣の時に制定される。満 (152) 歳以上の男子に納税額に関係なく選挙権を与える。同時に社会主義をとりしめるため (153) 法が制定された。</p>
<p>昭和 時代</p>	<p><b>大陸侵略</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1927年の金融恐慌<sup>きんゆうきょうこう</sup>、1929年にアメリカでおこった (154) で不景気がひどくなった。</li> <li>(155) 主義の台頭...軍部の力で国を統制し、大陸へ進出して不景気を打開しようとした。</li> <li>・1931年、(156) ...関東軍が南満州鉄道を爆破 (柳条湖事件<sup>りゅうじょうこ</sup>)</li> <li>満州国建国 - 中国の訴えでリットン調査団派遣 連盟脱退</li> <li>・1932年、(157) 事件...犬養毅首相暗殺、政党政治の終わり。</li> <li>・1933年、国際連盟脱退</li> <li>・1936年、(158) 事件...軍部の政治支配、(155) 主義の国へ</li> <li>・1937年、(159) 戦争...北京郊外の蘆溝橋<sup>るこうきょう</sup>で日中両軍が衝突 (160) 首相</li> <li>・1938年、(161) 法制定</li> <li>・1939年、第二次世界大戦始まる。(ドイツ軍のポーランド侵攻<sup>しんこう</sup>)</li> <li>・1940年、(162) 同盟結ぶ。日ソ中立条約。フランス領インドシナ南部へ進駐<sup>しんちゅう</sup>。</li> <li>・1941年、(163) 戦争始まる。(陸軍マレー半島、海軍ハワイの真珠湾攻撃<sup>しんじゅわん</sup>)。 (164) 首相</li> <li>・1942年、6月ミッドウェー海戦</li> <li>・1945年、広島・長崎に原子爆弾投下される。(165) 宣言受諾<sup>じゅだく</sup>、無条件降伏<sup>こうふく</sup>。</li> </ul> <p><b>戦後の民主化</b></p> <p>ジーエッチキュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・G H Q 総司令官 (166) による管理のもと、日本の民主化が図られた。</li> </ul> <p>政治の民主化...満20歳以上の男女に選挙権を与える。治安維持法の廃止。東京裁判による戦争犯罪人の処罰。</p> <p>経済の民主化... (167) 解体、独占禁止法。 (168) で小作農を自作農とする。</p> <p>労働者の保護...労働三法 = (169) 法、労働関係調整法、労働基準法。</p> <p>教育の民主化...教育勅語をやめる。 (170) 法の制定。</p> <p>日本国憲法の制定...1946年11月3日公布、1947年5月3日施行<sup>しこう</sup></p> <p>三大原則 = (171) (主権在民) ・ (172) の尊重<sup>そんちょう</sup> ・ (173)</p> <p><b>日本の独立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1950年、(174) 戦争...特需景気<sup>とくじゅ</sup>、今日の自衛隊のもととなる (175) の創設<sup>そうせつ</sup>。</li> <li>・1951年、(176) 平和条約...48カ国と調印、これにより日本は独立を取り戻す。</li> <li>同時に (177) 条約を結んだ。アメリカ軍日本駐留<sup>ちゅうりゅう</sup>を認める。</li> <li>日本全権は (178)</li> <li>・1956年、ソ連との間で (179) が出される。日本の (180) 加盟。国際社会への復帰。</li> <li>・1960年代...安保闘争<sup>あんぼ</sup>、(181) 計画による高度経済成長。</li> <li>・1964年、(182) 新幹線開通、(183) 開催<sup>かいさい</sup>。</li> </ul>

昭和 時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1965年、韓国との間に(184)条約結ばれる。北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)とは国交がない。</li> <li>・ 1968年、(185)諸島復帰。</li> <li>・ 1972年、(186)に調印し中国と国交回復、時の首相は(187)。 (188)が本土復帰。</li> <li>・ 1973年、(189)の影響で高度経済成長が終わる。</li> <li>・ 1975年、第1回先進国首脳会談(=(190))がフランスで開催される。</li> <li>・ 1978年、(191)条約に調印。</li> </ul>
平成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1989年、昭和天皇が崩御する。元号が平成となる。</li> <li>・ 1990年、東西(192)が統一される。</li> <li>・ 1991年、イラクがクウェートに侵攻する。( (193) 戦争 ) ソビエト連邦の解体</li> <li>・ 1992年、(194)協力法にもとづき自衛隊がカンボジアへ派遣される。</li> <li>・ 1993年、細川連立内閣が発足する。 北海道南西沖地震(奥尻島)</li> <li>・ 1995年、(195)大震災</li> </ul>

政治史整理プリント 解答用紙 Ver 1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95



96	97	98	99	100
101	102	103	104	105
106	107	108	109	110
111	112	113	114	115
116	117	118	119	120
121	122	123	124	125
126	127	128	129	130
131	132	133	134	135
136	137	138	139	140
141	142	143	144	145
146	147	148	149	150
151	152	153	154	155
156	157	158	159	160
161	162	163	164	165
166	167	168	169	170
171	172	173	174	175
176	177	178	179	180
181	182	183	184	185
186	187	188	189	190
191	192	193	194	195



政治史整理プリント 解答用紙 Ver 1

1	2	3	4	5
身分	や またい 邪馬台	4	し せい 氏姓	だい せん 大山
6	7	8	9	10
ずい こ 推古	かん い じゅうにかい 冠位十二階	十七条の憲法 けんぽう	おののいもこ 小野妹子	ほうりゅう じ 法隆寺
11	12	13	14	15
なかのおおえのおうじ 中大兄皇子	なかとみのかまたり 中臣鎌足	公地公民	こ せき 戸籍	じんしん 壬申の乱
16	17	18	19	20
もん む 文武	げんめい 元明	しょう む 聖武	だざいふ 大宰府	さん ぜいしん 三世一身
21	22	23	24	25
こんでんえいねん し ざい 墾田永年私財	しょうえん 荘園	かん む 桓武	さかのうえのたむら ま ろ 坂上田村麻呂	ふ ゆ 不輸
26	27	28	29	30
ふにゅう 不入	せつかん 摂関	ほうおうどう 平等院鳳凰堂	たいらのまさかど 平将門	すみとも 藤原純友
31	32	33	34	35
みなもとのよしいえ 源義家	しらかわ 白河	ほうげん 保元	へい じ 平治	みなもとのよしとも 源義朝
36	37	38	39	40
たいらのきよもり 平清盛	だんのうら 壇ノ浦	しゅご 守護	じとう 地頭	じょうきゅう 承久
41	42	43	44	45
ご と ば 後鳥羽	ろく は ら たんだい 六波羅探題	しつけん 執権	じょうえいしきもく ご せいばい 貞永式目(御成敗式目)	ほうじょうやすとき 北条泰時
46	47	48	49	50
ぶんえい 文永	こうあん 弘安	ほうじょうときむね 北条時宗	とくせいれい 徳政令	1333
51	52	53	54	55
ご だいご 後醍醐	あしかがたかうじ 足利尊氏	よし の 吉野	あしかがよしみつ 足利義満	おうにん 応仁
56	57	58	59	60
あしかがよしまさ 足利義政	もちとよ そうぜん 山名持豊(宗全)	かつもと 細川勝元	げこくじょう 下剋上	いまがわよしもと 今川義元
61	62	63	64	65
あしかがよしあき 足利義昭	あけ ち みつひで 明智光秀	らくいち らくざ 楽市・楽座	だいじょうだいじん 太政大臣	たいこうけん ち 太閤検地
66	67	68	69	70
かたながり 刀狩	ぶんろく 文禄	けいちょう 慶長	キリスト	関ヶ原
71	72	73	74	75
いしだみつなり 石田三成	征夷大將軍	大阪夏の陣 じん	ぶ け しょはつ と 武家諸法度	ろうじゅう 老中
76	77	78	79	80
てんりょう 天領	しんぼん 親藩	ふ だい 譜代	と さま 外様	さんきんこうたい 参勤交代
81	82	83	84	85
きんちゅうならびに く げ しょはつ と 禁中並公家諸法度	五人組	いえみつ 家光	ポルトガル	しまばら あまくさ 島原・天草
86	87	88	89	90
げんろく 元禄	生類憐み	しょうとく 正徳	よしむね 吉宗	こんよう 青木昆陽
91	92	93	94	95
あげまい 上米	く じ かた お さだめがき 公事方御定書	た めまおきつぐ 田沼意次	かぶなか 株仲間	てんめい 天明

9 6	9 7	9 8	9 9	1 0 0
まつだいらさだのぶ 松平定信	かんせい い がく 寛政異学	かこいまい 囲米の制	みず の ただくに 水野忠邦	おおしおへいはちろう 大塩平八郎
1 0 1	1 0 2	1 0 3	1 0 4	1 0 5
じょうち 上地 (上知)	ひとかえ 人返し	ペリー	にちべい わ しん 日米和親	にちべいしゅうこうつうしょう 日米修好通商
1 0 6	1 0 7	1 0 8	1 0 9	1 1 0
あんせい たいごく 安政の大獄	い い なおすけ 井伊直弼	さかもとりょうま 坂本竜馬	たいせいほうかん 大政奉還	とくがわよしのぶ 徳川慶喜
1 1 1	1 1 2	1 1 3	1 1 4	1 1 5
ほしん 戊辰	か じょう こ せいもん 五箇条の御誓文	はんせきほうかん 版籍奉還	はいはん ちけん 廃藩置県	とみおかせいし じょう 富岡製糸場
1 1 6	1 1 7	1 1 8	1 1 9	1 2 0
ち そ 地租	ちようへい 徴兵	せいなん 西南	自由民権	みんせん ぎ いんせつりつけんぱくしょ 民選議院設立建白書
1 2 1	1 2 2	1 2 3	1 2 4	1 2 5
自由	りっけんかいしん 立憲改進黨	ないかく 内閣	と とうひろぶみ 伊藤博文	だいにっぽんていこくけんぽう 大日本帝国憲法
1 2 6	1 2 7	1 2 8	1 2 9	1 3 0
2 5	1 5	こうご 甲午農民戦争	下関	たいわん 台湾
1 3 1	1 3 2	1 3 3	1 3 4	1 3 5
かんしろう 三国干渉	ポーツマス	セオドア＝ルーズベルト	サハリン	にちえいどうめい 日英同盟
1 3 6	1 3 7	1 3 8	1 3 9	1 4 0
よさのあきこ 与謝野晶子	む つ むねみつ 陸奥宗光	じゅ たろう 小村寿太郎	ベルサイユ	ぞうせん 造船
1 4 1	1 4 2	1 4 3	1 4 4	1 4 5
かんとうだいしんさい 関東大震災	ウィルソン	2 1 か条の要求	五・四	三・一独立
1 4 6	1 4 7	1 4 8	1 4 9	1 5 0
ご けん 護憲	お ざきゆき お 尾崎行雄	よし の さくぞう 吉野作造	こめそうどう 米騒動	はらたかし 原敬
1 5 1	1 5 2	1 5 3	1 5 4	1 5 5
かとうたかあき 加藤高明	2 5	ち あん い じ 治安維持	きょうこう 世界恐慌	ぐんこく 軍国
1 5 6	1 5 7	1 5 8	1 5 9	1 6 0
満州事変	五・一五	二・二六	日中	このえぶみまる 近衛文磨
1 6 1	1 6 2	1 6 3	1 6 4	1 6 5
国家総動員	日独伊三国	太平洋	ひでき 東条英機	ポツダム
1 6 6	1 6 7	1 6 8	1 6 9	1 7 0
マッカーサー	ざいぼつ 財閥	かいかく 農地改革	労働組合	教育基本
1 7 1	1 7 2	1 7 3	1 7 4	1 7 5
国民主権	基本的人権	平和主義	朝鮮	警察予備隊
1 7 6	1 7 7	1 7 8	1 7 9	1 8 0
サンフランシスコ	日米安全保障 ほ しょう	よし た しげる 吉田 茂	日ソ共同宣言	国際連合
1 8 1	1 8 2	1 8 3	1 8 4	1 8 5
しょうとくばいぞう 所得倍増	東海道	東京オリンピック	にっかん 日韓基本	お がきわら 小笠原
1 8 6	1 8 7	1 8 8	1 8 9	1 9 0
日中共同声明 せいめい	たかえい 田中角栄	沖縄	石油危機	サミット
1 9 1	1 9 2	1 9 3	1 9 4	1 9 5
日中平和友好 ゆうこう	ドイツ	わんがん 湾岸	P K O	阪神



<p>弥生 時代</p>	<p>1 前1世紀...倭(日本)は100あまりの小国に分かれ、(1)郡(前漢が朝鮮北部に設けた郡)に定期的に使いを送っていたという(「(2)」地理志)。</p> <p>2 1世紀.....倭の奴国の王が(3)に使いを送り、光武帝から金印を授かった(「(4)」東夷伝)。この時のものと思われる金印が志賀島(福岡県)で発見された。</p> <p>3 3世紀.....邪馬台国の女王(5)は、(6)によって政治を行い、30あまりの小国を従えていた。(5)は239年、使いを魏に送り、皇帝から『親魏倭王』の称号と金印・銅鏡などを授かった。「(7)」には倭の人々の社会のようすがのべられている。</p>
<p>大和 時代</p>	<p>1 大和朝廷と朝鮮.....4世紀前半、国土の統一をほぼ終えた大和朝廷は、進んだ技術と鉄資源をもとめて半島南部(任那)に進出し、391年には高句麗や(8)と戦った(「高句麗(9)碑」)。</p> <p>その後、任那は562年に(8)にほろぼされた。</p> <p>2 倭の五王.....5世紀には、大和政権の大王(のちの天皇)は、5代にわたって中国の南朝に使いを送り、朝鮮南部の支配を認めてもらおうとした。</p> <p>3 渡来人と文化の伝来 大陸との交りが盛んになると、中国や朝鮮から多くの人々が日本に移住してきた。かれらによって、製陶・養蚕・機織・鍛冶などの新しい技術や文化が伝えられ、日本人の生活や文化が高められた。 漢字や儒教も5世紀ごろ百済からもたらされた。また、はじめ渡来人のあいだで信仰されていた(10)は6世紀半ばに百済から伝えられた。</p> <p>4 遣隋使.....聖徳太子は中国と対等の国交を開き、すぐれた制度や文物を取り入れるため、607年に、(11)を隋に派遣した。使節に同行した留学生は後の改新のときに活躍する。</p>
<p>奈良 ・ 平安 時代</p>	<p>1 遣唐使 中国の制度と文化をとり入れるため、遣隋使に続き遣唐使が送られた。 630年に第1回の遣唐使として(12)が派遣された。 そのあと9世紀末まで約260年間に十数回送られた。 航路は、初めは朝鮮半島の西岸を北上する北路であったが、7世紀に新羅との関係が悪化すると、東シナ海を横断する危険の多い南路がとられた。 日 唐 阿倍仲麻呂(奈良時代) 空海・最澄(平安時代) 唐 日 鑑真(奈良時代 律宗を伝え、唐招提寺を建立)</p> <p>2 遣唐使の廃止 894年、(13)の意見により、遣唐使は中止された。このころ国風文化が生まれた。 遣唐使の廃止によって、唐との正式な国交はたえたが、中国の商船はたびたび日本に来航し、中国の文化を伝えた。 遣唐使廃止の理由 ア 唐の国力のおとろえ イ 航海が危険 ウ 遣唐使派遣の費用が調達困難 エ 唐船の来航により、遣唐使の意義が消失</p> <p>3 日宋貿易 唐は907年に滅び、その後五代をへて、960年、中国は宋によって統一された。 (14)は、日宋貿易をさかんにするため、兵庫の港(神戸港)をととのえた。このため大陸との往来が活発となり、宋にわたる商人や僧侶が多くなった。 輸入品.....(15)(商業の発達をうながした)・陶磁器・絹織物・香料など 輸出品.....硫黄・刀剣・扇・金・水銀など</p>

鎌倉時代	<p>1 日宋関係……鎌倉時代に入っても宋との国交は開かれなかったが、民間貿易は続けられた。この時代は禅僧の往来がさかんとなり、(16)によって臨済宗、(17)によって曹洞宗がそれぞれ日本にもたらされた。</p> <p>2 元寇 (18)を従えたフビライは、日本も征服しようとして、たびたび使者をよこした。しかし執権の(19)は、元の要求を拒否した。このため元の大軍が2度にわたって北九州にせめてきた。 (20)の役(1274年)・(21)の役(1281年)……いずれも日本の武士の活躍と暴風雨によって、元軍を退けることができたが元寇後、幕府の力は次第に弱まっていった。</p>
室町時代	<p>1 日元貿易((22)船)……足利尊氏は(22)を建立する費用をえるため、鎌倉幕府の建<sup>けんちよう</sup>長寺船にならって元に貿易船をつかわした。</p> <p>2 (23)……元寇ののち、北九州や瀬戸内沿岸の武士や漁民たちのなかには、中国や朝鮮での貿易がうまくいかないと、その沿岸をおそい、米や人をうばう海賊<sup>ぞく</sup>となるものがいた。中国・朝鮮では、これを(23)とよびおそれた。</p> <p>3 日明貿易((24)貿易) 元を滅ぼした明は、(23)の取りしまりと国交を結ぶことを日本に求めてきた。 3代将軍(25)は、(23)の取りしまりを約束するとともに、貿易の利益を考え、明との貿易をはじめた。 貿易には、(23)と区別するための勘合(符)という合い札を用いたので、この日明貿易を勘合貿易ともいう。 貿易の実権は、幕府から有力な守護大名にうつり、(26)や博多が貿易港として栄えた。 輸入品……(27)・生糸・絹織物など 輸出品……銅<sup>いおう</sup>・硫黄<sup>とうげん</sup>・刀剣など</p> <p>4 ヨーロッパ人の来航 鉄砲の伝来……1543年、(28)人が(29)に漂着<sup>ひょうちゃく</sup>し、鉄砲を伝える。鉄砲は戦国大名に注目されて、急速に各地に広まり、戦い方や城のつくり方に影響を与えた。 キリスト教の伝来……1549年、イエズス会のスペイン人宣教師(30)は、鹿児島に上陸し、日本にはじめてキリスト教を伝えた。こののち多くの宣教師が来日し、貿易の仲介<sup>ちゅうかい</sup>をしながら布教した。 天正遣欧使節<sup>てんしょうけんおつ</sup>……1582年、大村・大友・有馬らの九州のキリシタン大名は、宣教師のすすめで、伊藤マンショ<sup>きょうこう</sup>ほか3人の少年をローマ教皇のもとにつかわした。これは日本人がヨーロッパにわたった最初のことである。</p> <p>5 (31)貿易 16世紀後半、ポルトガル船やスペイン船は、平戸や長崎へきて貿易をおこなった。 当時、ポルトガル人・スペイン人を(31)人とよんだので、この貿易を(31)貿易という。 輸入品……中国産の生糸・絹織物・鉄砲・火薬など 輸出品……銀・銅<sup>いおう</sup>・硫黄<sup>とうげん</sup>など</p>
安土・桃山時代	<p>1 信長の外交……仏教勢力をおさえるためにキリスト教を保護し、(31)貿易もすすめた。</p> <p>2 秀吉の外交 秀吉は、はじめ信長にならってキリスト教を保護したが、1587年、全国統一のさまたげになると考えて、これを禁止した。しかし、貿易はこれまでどおりとしたので、布教はひそかに続けられた。 (32)貿易……秀吉は、大名や大商人に朱印状(海外渡航許可書)を与えて、貿易を保護した。この貿易を(32)貿易といい、日本人はさかんに東南アジアに出かけた。 (33)……国内の統一に成功した秀吉は、さらに、中国(明)を支配しようとして、朝鮮に協力を求めた。ところが、これがことわられると、2度にわたって朝鮮に大軍を送った 文禄の役…1592年 慶長の役…1597年  明の援軍と朝鮮民衆のはげしい抵抗<sup>ていこう</sup>でつまづき秀吉の病死をきっかけに全軍をひきあげた。 この戦争後、豊臣氏は急速におとろえていった。 この時、大名が朝鮮から連れ帰った陶工によって、有田焼・萩焼などがはじめられた。</p>

江戸時代	<p>1 初期の外交と貿易</p> <p>オランダ・イギリスとの貿易 家康は、オランダ人の(34)とイギリス人の(35)(三浦按針<sup>あんじん</sup>)を外交の相談役にした。このことがきっかけとなって、オランダとイギリスは平戸(長崎県)に商館を建て、貿易を始めた。</p> <p>朱印船貿易の発展 家康は、秀吉がはじめた朱印船貿易をさかんにすすめた。このため東南アジア各地に(36)ができた。シャムの(36)で活躍したのが(37)である。</p> <p>輸入品.....中国産の生糸・絹織物・香料 輸出品.....銀 中国 明・清とも国交は開かれなかったが、民間貿易はさかんであった。</p> <p>朝鮮 (38)のとき国交が回復し、家光の時から将軍がかわるごとに使節が江戸にきた。(=(39)) 貿易は(40)の宗氏<sup>そう</sup>があたった。 琉球<sup>りゅうきゅう</sup> (41)藩は琉球へ出兵し、これを支配下においた。そして、琉球王に、中国との貿易をつづけさせ、その利益を手に入れた。</p> <p>2 鎖国</p> <p>キリスト教と貿易 家康は、貿易の利益を重視して、はじめはキリスト教を黙認<sup>もくにん</sup>していたが、貿易がさかんになるにつれて、キリシタンが増えたので後に禁止した。</p> <p>鎖国の理由 ア キリスト教を禁止するため ・キリシタンの団結力に対するおそれ。 ・布教によってポルトガル・スペインの侵略をまねくのではないかというおそれ。 ・キリスト教と封建道德の対立 イ 貿易を統制するため ・幕府が貿易の利益を独占。 ・西南の諸大名が貿易によって経済力を強めるのではないかというおそれ。</p> <p>鎖国への道 1613年 幕府、全国に禁教令を布告 1616年 中国船以外の外国船の来航を長崎と平戸に限定 1624年 スペイン船の来航を禁止 1635年 日本船、日本人の海外渡航と、在外日本人の帰国を禁止 1637年 (42)一揆おこる(～1638) 1639年 (43)人の来航を禁止 1641年 オランダ人を長崎の出島に移す</p> <p>鎖国の影響 ア 幕府の支配体制が強化された。 イ 日本人の海外発展の道がとざされた。 ウ 産業や文化の近代化がおくれた。 エ 日本独自の文化が発達した。</p> <p>鎖国中の貿易 ア 貿易相手国.....キリスト教の布教に関係のない中国(清)・朝鮮・オランダと貿易 イ 貿易港.....長崎(オランダは出島で) 毎年、海外のようすをしるした報告書(オランダ風説書<sup>ふうせつがき</sup>)を幕府に提出<sup>ていしゅつ</sup>した。</p> <p>3 新井白石<sup>あら い はくせき</sup>の外交.....金・銀の海外流出を防ぐため、長崎貿易を制限した。</p>
------	--



江戸時代	<p>4 外国船の来航</p> <p>ロシア船の来航……幕府は、世の中の人をまどわしたとして「(44)」(海防の必要を説いた本)をあらわした(45)を処罰した。その直後の1792年、ロシアの使者(46)が通商を求めて(47)にきた。幕府はロシアの要求をことわるとともに、北方にそなえて、(48)(千島)や(49)(樺太)らに、探検を命じた。また、探検とあわせて蝦夷地の測量が伊能忠敬によってはじめられた。</p> <p>フェートン号事件…1808年、イギリスの軍艦フェートン号が長崎に来て乱暴した。</p> <p>外国船(異国船)打払令……(50)年、幕府は外国船の来航に対して、直ちに打ちはらえという命令を出して、あくまで鎖国を守ろうとした。</p> <p>(51)号事件と(52)の獄……1837年、アメリカの商船(51)号が貿易を求めて浦賀へきたが、幕府は、これを追い返した。この事件で幕府の鎖国政策を批判した洋学者の(53)・(54)らは、捕えられ、処罰された。</p> <p>この事件を(52)の獄という。</p> <p>5 開国へ</p> <p>ペリーの来航……1853年、アメリカのペリーが(55)に来航した。アメリカは、北太平洋の捕鯨船と中国へ行く貿易船の寄港地を日本に求めてきた。</p> <p>(56)条約……1854年、幕府はペリーの圧力に屈ししかたなく、(56)条約(神奈川条約)を結び、下田(静岡県)と函館(北海道)を開港した。</p> <p>(57)条約……1858年、大老(58)は、ハリスの要求におされて(57)条約に調印した。つづいて、オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも同じような条約を結んだ((59)条約)。</p> <p>これにより約200年つづいた鎖国が終わった。</p> <p>《内容》ア 函館・神奈川(横浜)・長崎・新潟・兵庫(神戸)の5港を開く。  イ (60)(領事裁判権)を認める。  ウ (61)がない。</p> <p>開国の影響</p> <p>ア 輸入品……毛織物・絹織物・武器                      貿易港……横浜が中心  輸出品……生糸・茶    貿易相手国……イギリスが中心</p> <p>イ 開国の影響……輸出品が品不足となったため物価が上がり、下級武士や民衆の生活が非常に苦しくなった。このため、貿易に対する不満が高まり、攘夷論が強まった。</p> <p>6 攘夷運動の失敗</p> <p>長州藩は四か国艦隊下関砲撃事件で、薩摩藩は薩英戦争で攘夷の不可能をさとり、事件後は(62)に接近した。これに対し幕府は(63)の援助を受けた。</p>
明治時代	<p>明治初期の外交</p> <p>ア 岩倉使節団……(64)のため岩倉具視を団長とした使節団を欧米に派遣した。</p> <p>イ 中国(清)……日清修好条約を結び、対等な外交をすすめた。</p> <p>ウ 朝鮮……(65)論をおさえた政府は、その後江華島事件をきっかけにして、朝鮮政府に不平等条約(日朝修好条規)を結ばせ、貿易を始めた。</p> <p>エ ロシア……(66)交換条約により、樺太はロシア領、千島列島は日本領となる。</p> <p>日清戦争(1894～1895年)</p> <p>ア 原因……日本と清は朝鮮の支配をめぐる対立していたが、1894年におこった東学党の乱((67)戦争)をきっかけとして戦争となった。</p> <p>イ 結果……1895年、日本の代表(68)と清の代表(69)との間で下関条約が結ばれた。</p> <p>この条約で日本は、清に朝鮮の独立を認めさせ、遼東(リヤオトン)半島・台湾などの領土と2億両(約3億1千万円)の賠償金を獲得した。</p> <p>三国干渉</p> <p>1895年、下関条約をみた(70)は、日本の大陸進出をおそれて、(71)・(72)とともに遼東半島を清に返すよう強く要求してきた。</p> <p>これを三国干渉という。</p>

<p>明治 時代</p>	<p>日英同盟 1902年、日本とイギリスは、ロシアの(73)政策に対抗するため同盟を結んだ。</p> <p>日露戦争 ア 原因……日本とロシアの満州と朝鮮の支配をめぐる対立。 イ 結果……アメリカ合衆国の大統領(74)の仲立ちで、ポーツマス条約が結ばれた。この条約で、日本は韓国に対する指導権をロシアに認めさせ、南樺太を領土とし、ロシアに代わって、遼東半島南部の租借権と南満州の権利をゆずりうけた。</p> <p>韓国併合 日露戦争後、日本は韓国を保護国として、韓国の政治・外交・軍事などを支配した。そして、(68)が韓国人に暗殺されたのをきっかけにして、1910年、韓国民の強い反対をおさえて韓国を植民地とした。</p>
<p>大正 時代</p>	<p>第一次世界大戦(1914～1918年) 1914年、オーストリアの皇太子夫妻が暗殺された(75)事件をきっかけにして、イギリス・フランス・ロシアなどの連合軍とドイツ・オーストリアなどの同盟国との間で激しい戦争がおこった。これが第一次世界大戦である。</p> <p>日本の参戦 大戦が始まると日本は、(76)を口実にして連合軍側につき、ドイツに宣戦を布告した。そして、陸軍はドイツの東洋の根拠地である青島(チンタオ)を占領し、海軍はドイツ領南洋諸島を占領した。</p> <p>(77)の要求 大戦の始まった翌年(1915年)、日本は、(78)に対して(77)の要求をつきつけた。このため中国では激しい排日(反日)運動がおこった。</p> <p>大戦中 1917年、(79)がおこり、世界で最初の社会主義国が成立した。</p> <p>ベルサイユ条約 アメリカの参戦などにより、1918年連合軍の勝利で大戦が終わった。翌年、(80)で講和会議が開かれ、連合軍はドイツとベルサイユ条約を結んだ。日本は中国にあったドイツの権益を受けつぎ、ドイツ領南洋諸島の統治をまかされた。</p> <p>反日運動 三・一独立運動と五・四運動</p>
<p>昭和 時代</p>	<p>(81) 事変 1931年、関東軍は、満州の支配を強化するため、奉天付近の柳条湖で鉄道を爆破した。これを中国軍のしわざだとして、満州に攻めこみ、たちまち満州を占領した。この事件を(81)事変という。</p> <p>翌年、軍部は満州国を成立させ、その実権をにぎった。</p> <p>日本の国際連盟脱退 1933年、国際連盟は(82)調査団の報告書にもとづいて、日本に軍を満州からひきあげるよう勧告した。日本はこれに対して不満を表明し、国際連盟を脱退し、国際的に孤立していった。</p> <p>(83) 戦争(日華事変) 満州を占領した日本は、さらに華北をも侵略しようとした。</p> <p>1937年、北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突したのがきっかけで、日本と中国は全面戦争となった。</p> <p>第二次世界大戦 1939年、ドイツが(84)に侵入し、第二次世界大戦が始まった。</p> <p>太平洋戦争 1940年日本は(85)軍事同盟を結んだ。このため米・英との対立は決定的なものになった。</p> <p>1941年、日本は、(86)条約を結んで北方の安全をはかると、ハワイの(87)を攻撃し、太平洋戦争が始まった。</p> <p>1945年8月15日、6日・9日の原爆投下と8日のソ連の参戦から日本は(88)を受け入れ連合軍に降伏した。</p> <p>国際連合の成立 第二次世界大戦末の1945年4月、連合軍51か国の代表はサンフランシスコに集まって、国際連合憲章を制定し、10月には国際連合を成立させた。</p> <p>本部はアメリカのニューヨーク。</p>

昭和 時代	<p><b>朝鮮戦争</b> 1950年、朝鮮半島の北緯(89)度線付近で、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の軍隊が衝突し、激しい戦争(朝鮮戦争)となった。</p> <p>日本経済が特需景気で回復した。自衛隊のもととなる警察予備隊の創設。</p> <p><b>日本の独立</b> 1951年、日本は(90)平和条約に調印し独立を回復した。同時に、(91)条約を結び、アメリカ軍がひきつづき日本にとどまることを認めた。</p> <p>ソ連・ポーランド・チェコスロバキアは条約の内容に反対し調印せず。中国は会議に招かれなかった。</p> <p><b>日ソ国交回復と日本の国連加盟</b> 1956年、日本は(92)に調印して、ソ連との国交を回復した。 これにより、同年、日本は国際連合に加盟し、国際社会に復帰した。</p> <p><b>韓国と国交回復</b> 1965年、大韓民国と(93)条約が結ばれ国交が回復した。</p> <p><b>小笠原諸島と沖縄の返還</b> 小笠原諸島が1968年に、沖縄が1972年に、アメリカ合衆国から日本に返還され本土に復帰した。</p> <p><b>日中の国交</b> 1972年、(94)が出されて中国との国交が正常化され、1978年には、(95)条約が結ばれて、中国と友好関係がさらに深まった。</p>
----------	--

外交史整理プリント 解答用紙 Ver 1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95



外交史整理プリント 解答用紙 Ver 1

1	2	3	4	5
らくろう 楽浪	かんしょ 漢書	かん 漢	後漢書	ひみこ 卑弥呼
6	7	8	9	10
まじない	ぎしわじんてん 魏志倭人伝	しらぎ 新羅	こうたいおう 好太王	仏教
11	12	13	14	15
小野妹子	いぬがみのみたすき 犬上御田鎌	すがわらのみちざね 菅原道真	たいらのきよもり 平清盛	そうせん 宋銭
16	17	18	19	20
えいさい 栄西	どうげん 道元	こうらい 高麗	ほうじょうときむね 北条時宗	ぶんえい 文永
21	22	23	24	25
こうあん 弘安	てんりゅうじ 天竜寺	わこう 倭寇	かんこう 勘合	あしかがよしみつ 足利義満
26	27	28	29	30
さかい 堺	みんせん 明銭	ポルトガル	たねがしま 種子島	フランシスコ=ザビエル
31	32	33	34	35
なんばん 南蛮	しゅいんせん 朱印船	しんりやく 朝鮮侵略(出兵)	ヤン=ヨーステン	ウィリアム=アダムズ
36	37	38	39	40
日本町	ながまさ 山田長政	いえやす 家康	ちょうせんつうしんし 朝鮮通信使	つしま 対馬
41	42	43	44	45
さつま 薩摩	しまばら あまくさ 島原・天草	ポルトガル	かいこくへいだん 海国兵談	はやししへい 林子平
46	47	48	49	50
ラクスマン	ねむろ 根室	じゅうぞう 近藤重蔵	まみやりんぞう 間宮林蔵	1825
51	52	53	54	55
モリソン	ばんしゃ 蛮社	かざん 渡辺崋山	たかの ちょうえい 高野長英	うらが 浦賀
56	57	58	59	60
日米和親	しゅうこうつうしょう 日米修好通商	い い なおすけ 井伊直弼	安政の五ヶ国	ちがいほうけん 治外法権
61	62	63	64	65
関税自主権	イギリス	フランス	条約改正	せいかん 征韓
66	67	68	69	70
からふと ちしま 樺太・千島	こうご 甲午農民	ひろぶみ 伊藤博文	りこうしょう 李鴻章	ロシア
71	72	73	74	75
フランス	ドイツ	なんが 南下	ルーズベルト	サラエボ
76	77	78	79	80
にちえいどうめい 日英同盟	か (対華)二十一か条	ちゅうか じんこく 中華民国	かくめい ロシア革命	パリ
81	82	83	84	85
満州	リットン	日中	ポーランド	日独伊三国
86	87	88	89	90
日ソ中立	しんじゅわん 真珠湾	ポツダム宣言	38	サンフランシスコ
91	92	93	94	95
日米安全保障 ほしょう	日ソ共同宣言	につかん きほん 日韓基本	日中共同声明 せいめい	日中平和友好



<p>無 土 器</p>	<p>先土器(1)文化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色.....(2)石器とよばれる(3)石器が使われた時代で、土器は使われなかった。</li> <li>2 生活.....石器が使われ、集団で狩りをしたらしい(1949年),(4)遺跡の発見)</li> </ol>
<p>縄文 時代</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 時期.....1万3千年~1万2千年ほど前から、約8000年もつづいた。</li> <li>2 道具.....縄 文土器や新石器とよばれる(5)石器が作られた。 縄文式土器.....縄目の文様をもつ。焼いた温度が低いので,(6)てもろい。黒かっ色。 石器・骨角器.....石やり・石のやじり・石おの・つり針・もりなど。</li> <li>3 その他.....貝塚((7)貝塚は1877年(8)が発見),(9),(10)住居。</li> </ol>
<p>弥生 時代</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 時期.....紀元前4,5世紀~紀元3世紀ごろ。</li> <li>2 道具.....弥生土器,石器・木器のほか,金属器((11)器・(12)器)が使われる。 弥生式土器.....文京区弥生で初めて発見。(13)で(14)味が強く,文様もかんたん。 金属器.....青銅器((15)・(16)・(17)),鉄器(武器や農具をつくる工具)。 石器・木器.....(18)や木製器具((19)・田舟・きねなど)。</li> <li>3 その他.....(20)遺跡(静岡市),竪穴住居,(21)倉庫。</li> </ol>
<p>大和 時代</p>	<p>大和時代の文化(4世紀~6世紀前半)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色.....古墳を中心とする文化と渡来人によって伝えられた大陸文化がある。</li> <li>2 古墳文化.....古墳の上にしきつめた(22)と(23)・副葬品。 古墳.....5世紀ごろに大王や豪族によって日本独特の(24)墳(大阪府堺市の仁徳天皇陵といわれる(25)古墳)が作られ,6~7世紀には有力な農民により小さな円墳が数多くつくられるようになった。 埴輪.....古墳のまわりには円筒型の埴輪(円筒埴輪)が,頂上には人物・動物・家などをかたどった埴輪がおかれた。 副葬品.....古墳の内部にある石室や棺に,死者とともに,銅剣・銅鏡・玉などのほかに,鉄製の武器・よろい・かぶと・馬具・農具などが納められていることが多い。</li> <li>3 大陸文化の伝来.....漢人や朝鮮人のなかで,日本に来て朝廷に使え,文化の進歩に大きな役割を果たした((26)人)。 工芸技術.....鉄器・土器の生産や養蚕・はた織りと絹織物。治水・かんがい事業などの土木技術。 学問・思想.....漢字,(27)(論語)のほかに,538年には(28)から経文が朝廷に贈られ,仏教が伝えられた。</li> </ol>
<p>飛鳥 時代</p>	<p>飛鳥文化(6世紀後半~7世紀前半)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色.....都のあった飛鳥地方(奈良盆地南部)を中心におこったわが国最初の仏教文化。南北朝時代の中国やインド・ギリシアなどの文化の影響がみられる。</li> <li>2 建築.....飛鳥寺(蘇我馬子),(29)寺・(30)寺(現存する世界最古の木造建築)。</li> <li>3 工芸.....(31)像・百済観音・(32)(法隆寺),弥勒菩薩像(中宮寺・広隆寺)</li> </ol> <p>(33)文化(7世紀後半)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色.....天武天皇のころを中心に,唐の初期の文化の影響を受けた文化。飛鳥文化の後をうけて,次の天平文化を開かせた役割をもつ。</li> <li>2 美術.....(34)東塔,薬師三尊像,(35)壁画(1972年発見),(36)壁画。</li> </ol>
<p>奈良 時代</p>	<p>(37)文化(8世紀)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色.....奈良の都を中心に発達した貴族文化で,唐の全盛期の影響を受けた,国際色豊かな文化である。仏教文化の性格が強くみられる。</li> <li>2 仏教.....国家仏教として,(38)寺・国分尼寺・(39)寺が建立される。</li> <li>3 建築.....東大寺三月堂(法華堂),(40)(校倉造),(41)金堂(鑑真の建立)。</li> <li>4 彫刻・絵画.....鑑真和上像(唐招提寺),正倉院御物。</li> <li>5 書物.....「42」(太安万呂)・「43」(舎人親王)・「44」(各国の産物や地名、伝説など)・「45」(46)・大伴家持・柿本人麻呂・山部赤人などが有名な歌人,懐風藻(漢詩集)。</li> </ol>



<p>平安時代</p>	<p>国風文化（平安時代中ごろ）</p> <p>1 特色……唐の文化の影響がうすれ、日本の国土や生活にそった文化を生みだす。藤原氏の摂関政治のころにもっとも栄える。また、社会の乱れに対する貴族の不安な気持ちが、浄土教や末法思想の強い信仰にかりたてた。</p> <p>2 仏教……平安時代の初期に最澄は天台宗、空海は真言宗を広める。中期には末法思想の流行もあって、空也や源信によって浄土教が広められる。</p> <p>3 文学……国文学が発達するうえで大きな役割をはたしたのは、(47)の発明。  物語……「(48)」（最初のかな文学）、「(49)」（紫式部）、伊勢物語。  随筆……「(50)」（清少納言）  日記……「(51)」（紀貫之）  和歌……「(52)」（最初の直撰和歌集・紀貫之らが編さん）</p> <p>4 建築・美術……(53)堂（藤原頼通）、中尊寺金色堂、(54)造、大和絵。</p>
<p>鎌倉時代</p>	<p>鎌倉文化（12世紀～14世紀前半）</p> <p>1 特色……この時代の文化の新しい手は、はじめは公家や僧であったが、やがて武士により、素朴で力強い文化が生まれた。宋の文化の影響も受ける。</p> <p>2 新しい仏教……(55)（法然）・(56)（親鸞）・(57)（一遍）・(58)（栄西）・(59)（道元）・(60)（日蓮）</p> <p>3 文学……和歌がひきつづいて愛好され、また、軍記物がつくられた。  軍記物……「(61)」（琵琶法師）・「保元物語」・「平治物語」  随筆……「方丈記」（鴨長明）・「(62)」（吉田兼好）  和歌……「(63)」（藤原定家が編さん）・「金槐和歌集」（源実朝）</p> <p>4 美術……武士の社会を反映した、写実的で力強い作風。  建築・彫刻……(64)（天竺様）・円覚寺舍利殿（唐様）、東大寺南大門金剛力士像（運慶・快慶）、武家造。  絵画……〔絵巻物〕蒙古襲来絵詞・一遍上人絵伝・〔似絵〕源頼朝像（藤原隆信）</p>
<p>室町時代</p>	<p>室町時代の文化（14世紀～16世紀前半）</p> <p>1 (65)文化……14世紀の後半、3代将軍足利義満のころに栄える。義満が将軍職を退いてから建てた、京都北山の金閣（鹿苑寺）に代表される。</p> <p>2 (66)文化……15世紀の後半、8代将軍足利義政のころに栄える。京都東山に建てた銀閣（慈照寺）に代表される。</p> <p>3 特色……公家文化・武家文化・中国文化（宋・元・明）がとけあって、静かでおもむきのある（簡素で気品のある）、禅宗風の文化。この時代には、文化が地方へもひろがり、庶民の文化がさかんになった。</p> <p>4 学問……足利学校の再興（1439年、上杉憲実）</p> <p>5 文学……(67)（宗祇）、(68)（一寸法師・浦島太郎・酒吞童子など）</p> <p>6 美術  建築……鹿苑寺金閣（1397年完成、1950年焼失、1955年再建される）、慈照寺銀閣（1483年完成）  ・(69)（和風住宅のもと、東求堂）  庭園……竜安寺石庭  絵画……(70)（雪舟）</p> <p>7 芸能……能楽（義満の保護を受けて、観阿弥・世阿弥の父子が大成する）、狂言。</p>
<p>安土桃山時代</p>	<p>桃山文化（16世紀前半～17世紀初め）</p> <p>1 特色……仏教の影響をぬけだして、南蛮文化もとり入れた。豪華で雄大な文化。新しくおこってきた大名や、貿易で豊かになった大商人の気風から生まれる。</p> <p>2 建築……安土城・大阪城・伏見城・姫路城などの城郭や、西本願寺飛雲閣（聚楽第の一部）などの書院造。</p> <p>3 美術……ふすま絵や屏風絵などの障壁画が多く描かれ、城の内部をかざった。唐獅子図屏風・洛中洛外図屏風（71）、松鷹図（狩野山楽）など。</p> <p>4 工芸……朝鮮出兵の際、朝鮮から陶工などが多く日本へつれてこられたことがきっかけで、各地に陶磁器がおこる（唐津焼・有田焼・萩焼など）</p> <p>5 芸能……茶道（72）、浄瑠璃、歌舞伎踊り（出雲の（73））</p>

江戸時代	<p>1 特色……経済の発展から町人が財力をもち、はなやかに自由な人間性を追求する町人文化がおこった。文化の中心ははじめ(74)(京都・大阪)であった(元禄文化)が、のちには江戸に移った(化政文化)。</p> <p>2 元禄文化(17世紀～18世紀前半)……五代将軍(75)のころ上方を中心に発達する。      学問……これまで、学問はおもに公家や僧が学ぶものとされていたが、江戸時代にはいっばんの武士や庶民のなかからも多くの学者がでて、さまざまな学問が発達した。      [儒学] 朱子学(林羅山・新井白石), 陽明学(中江藤樹)      [歴史・地理] 『(76)』(徳川光圀), 『西洋紀聞』(新井白石)      [教育] 昌平坂学問所・藩校・寺子屋(読み・書き・そろばん)</p> <p>文学      [浮世草子] 「日本永代蔵」・「世間胸算用」(77) [俳諧] 「奥の細道」(78)      [浄瑠璃] 「曽根崎心中」・「国姓爺合戦」(79)</p> <p>芸能……歌舞伎(市川団十郎・坂田藤十郎)      建築……日光東照宮・桂離宮      絵画……装飾画(俵屋宗達・尾形光琳), 浮世絵(80)</p> <p>3 化政文化(18世紀後半～19世紀前半)……11代将軍家斉のころ江戸を中心にもっとも栄える。封建時代のいきづまりを反映して明るさが失われ、しゃれや肉肉が喜ばれた。      学問……江戸時代後期には、儒学のほかに国学がおこり、蘭学(のち洋学)も発達した。      [国学] 「古事記伝」(81), [蘭学] 「解体新書」(杉田玄白・前野良沢), 鳴滝塾(82)      [地理その他] 日本沿岸の実測地図(伊能忠敬), エレキテル・寒暖計(平賀源内)      [思想] 封建社会批判(安藤昌益), 鎖国政策批判(渡辺華山・高野長英)</p> <p>文芸……「東海道中膝栗毛」(83), 浮世床(式亭三馬), 南総里見八犬伝(滝沢馬琴),      俳諧(与謝蕪村・小林一茶), 狂歌(大田南畝), 川柳(柄井川柳)      絵画……浮世絵(「富嶽三十六景」(84)・「東海道五十三次」(85)・喜多川歌麿・東洲斎写楽)</p>
明治時代	<p>1 新しい教育と思想      学制発布(1872年)……義務教育の制度が定められる。      学校令(1886年)……小学校4年間を義務教育とし、中学校・帝国大学などの制度もとのえる。義務教育は日露戦争後に6年間に延長される。      (86)……忠君愛国の道徳が示され、長く国民教育のよりどころとなる。      新しい思想……「(87)」(福沢諭吉), 「民約論」(中江兆民)</p> <p>2 文明開化……東京などの大都市を中心に欧米の文化がとりいれられ、人々の生活が急速に変化していった。      太陽暦……1873年から採用された。また、1日24時間や1週間を7日として日曜を休日とする制度もはじめられた。      鉄道開通……1872年、新橋・横浜間にはじめて開通する。</p> <p>3 学問・美術・音楽の発展      自然科学……破傷風血清療法発見(88), 赤痢菌発見(89)      近代文学……小説神髓(坪内逍遙), 浮雲(二葉亭四迷), 舞姫(90), 若菜集・破戒(島崎藤村),      みだれ髪(与謝野晶子), たけくらべ(樋口一葉), 一握の砂(石川啄木), 吾輩は猫である・草枕など(91)      美術……日本美術の復興(フェノロサ・岡倉天心), 洋画(92), 日本画(狩野芳崖), 彫刻(高村光雲)      音楽……滝廉太郎が「荒城の月」や「花」などを作曲して、近代音楽への道を開いた。</p>
大正時代	<p>1 文学      ・白樺派…「友情」武者小路実篤, 「暗夜行路」(93), 「ある女」「一房のぶどう」有島武郎      ・新現実主義…「羅生門」(94), 「恩讐の彼方に」菊池寛, 「路傍の石」山本有三      ・プロレタリア文学…「蟹工船」(小林多喜二)</p> <p>2 放送……1925年(大正14)年に東京放送局が開設され,(95)がはじまる。</p> <p>3 婦人運動…雑誌『青踏』(96), 児童文学『赤い鳥』</p>

昭和	1 教育…… (97) 法が施行され, 6・3制, 男女共学が実施された。
時代	2 ノーベル賞受賞者
時代	物理学賞 (98・朝永振一郎・江崎玲於奈・小柴昌俊), 文学賞 (川端康成・99), 平和賞 (佐藤栄作),
-----	化学賞 (福井謙一・白川英樹・野依良治・田中耕一), 医学生理学賞 (利根川進)
平成	3 スポーツ
時代	東京オリンピック大会 (1964年) 冬季札幌オリンピック (1972年) 冬季長野オリンピック (1998年)
	4 その他
	東海道新幹線開業 (1964年), 山陽新幹線全線開業 (1975年), 東北・上越新幹線開業 (1985年), 山形新幹線 (ミニ新幹線「つばさ」) 開業 (1992年), 万国博覧会 (1970年・大阪), 科学万博 (1985年・筑波) の開催 (100) 国際空港 (1994年)

文化史整理プリント 解答用紙 Ver 1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60
61	62	63	64	65
66	67	68	69	70
71	72	73	74	75
76	77	78	79	80
81	82	83	84	85
86	87	88	89	90
91	92	93	94	95
96	97	98	99	100



# 文化史整理プリント 解答用紙 Ver 1

1	2	3	4	5
無土器	旧	打製 <small>だせい</small>	岩宿 <small>いわじゆく</small>	磨製 <small>ませい</small>
6	7	8	9	10
厚く	大森	モース	土偶 <small>どぐう</small>	竪穴 <small>たてあな</small>
11	12	13	14	15
青銅 <small>せいどう</small>	鉄	うす手	赤	銅剣 <small>どうけん</small>
16	17	18	19	20
銅鉾 <small>どうほこ</small>	銅鐸 <small>どうたく</small>	石包丁 <small>いしほうちよう</small>	田げた	登呂 <small>とる</small>
21	22	23	24	25
高床 <small>たかゆか</small>	ふき石	埴輪 <small>はにわ</small>	前方後円 <small>ぜんぽうこうえん</small>	大山 <small>だいせん</small>
26	27	28	29	30
渡来 <small>とらい</small>	儒教 <small>じゆきやう</small>	百濟 <small>くだら</small>	四天王 <small>してんのう</small>	法隆 <small>ほうりゆう</small>
31	32	33	34	35
釈迦三尊 <small>しゃかさんぞん</small>	玉虫厨子 <small>たまむしのずし</small>	白鳳 <small>はくほう</small>	薬師寺 <small>やくしじ</small>	高松塚古墳 <small>たかまつづかこふん</small>
36	37	38	39	40
法隆寺金堂 <small>こんどう</small>	天平 <small>てんびやう</small>	国分 <small>こくぶん</small>	東大	正倉院 <small>しょうそういん</small>
41	42	43	44	45
唐招提寺 <small>とうしょうだいじ</small>	古事記 <small>こじき</small>	日本書紀	風土記 <small>ふどき</small>	万葉集 <small>まんようしゆう</small>
46	47	48	49	50
山上憶良 <small>やまのうえのおくら</small>	かな文字	竹取物語	源氏物語	枕草子 <small>まくらのそうし</small>
51	52	53	54	55
土佐日記 <small>とさ</small>	古今和歌集 <small>こきんわかしゆう</small>	平等院鳳凰 <small>びやうどういんほうおう</small>	寝殿 <small>しんでん</small>	浄土宗 <small>じやうどしゆう</small>
56	57	58	59	60
浄土真宗 <small>じやうどしんしゆう</small>	時宗 <small>じしゆう</small>	臨濟宗 <small>りんざいしゆう</small>	曹洞宗 <small>そうとうしゆう</small>	法華宗 <small>ほっけしゆう</small>
61	62	63	64	65
平家物語 <small>へいけ</small>	徒然草 <small>つれづれくさ</small>	新古今和歌集	東大寺南大門 <small>なんだいもん</small>	北山 <small>きたやま</small>
66	67	68	69	70
東山 <small>ひがしやま</small>	連歌 <small>れんが</small>	伽草子 <small>とぎそうし</small>	書院造 <small>しよいんづくり</small>	水墨画 <small>すいぼくが</small>
71	72	73	74	75
狩野永徳 <small>かのうえいとく</small>	千利休 <small>せんりのきゆう</small>	阿国 <small>あくに</small>	上方 <small>かみがた</small>	綱吉 <small>つなよし</small>
76	77	78	79	80
大日本史	井原西鶴 <small>いはらさいかく</small>	松尾芭蕉 <small>まつおばしやう</small>	近松門左衛門 <small>ちかまつもんざえもん</small>	菱川師宣 <small>ひしかわもろのぶ</small>
81	82	83	84	85
本居宣長 <small>もとりのりなが</small>	シーボルト	十返舎一九	葛飾北斎 <small>かつしがほくさい</small>	安藤(歌川)広重 <small>うたがわひろしげ</small>
86	87	88	89	90
教育勅語 <small>ちよくご</small>	学問のすすめ	北里柴三郎 <small>しばさぶろう</small>	志賀潔 <small>しがきよし</small>	森鷗外 <small>おうがい</small>
91	92	93	94	95
夏目漱石 <small>そうせき</small>	黒田清輝 <small>せいき</small>	志賀直哉 <small>なおや</small>	芥川龍之介 <small>あくたがわりゆうのすけ</small>	ラジオ放送
96	97	98	99	100
平塚雷鳥 <small>らいちやう</small>	教育基本	湯川秀樹 <small>ひでき</small>	大江健三郎 <small>おおえけんざぶろう</small>	関西

